

2010年7月

三菱商事

大西洋クロマグロに関する声明(仮訳)

当社は企業活動を通じて、地球環境の保全や持続可能な発展に努めております。当社の生活産業グループでは、消費者の毎日の生活を支える衣食住関連の商品を扱っており、当社は日本市場への水産物の主要な供給者の一社となっております。その為当社にとって、漁業資源の保全は、長期的なビジネスの確保と、次世代への水産物の供給という両側面で、非常に重要な課題となっております。

当社は、大西洋クロマグロ（以下、クロマグロ）の買付、加工、卸売に関する事業を行っております。クロマグロを漁獲する漁業者と、消費者にクロマグロを供給する小売業者を繋ぐサプライチェーンの重要な一部分として、当社は持続可能な資源調達に責任を持って真剣に取り組んで参ります。

Our Principle 私たちの理念

当社は地中海に於けるクロマグロの資源が過剰漁獲の状況にあると認識しており、全ての関係者と共にクロマグロ資源の保全に積極的に取り組んで参ります。当社の最終目標は、環境に配慮し、持続可能な方法で漁獲されたクロマグロのみを取扱う事です。より具体的には、持続可能な方法でクロマグロ資源を調達する為に、以下の点についてお約束します。

- ・ 健全な個体数の維持：当社は、短期的な利益よりも長期的なクロマグロ資源の保全を優先し、サプライチェーンを通じて健全な個体数を維持・回復する為の取組や方策を支持します。従い、当社は、本鮪の資源管理を行う上で、少なくとも科学的根拠に基づいた勧告に忠実に従うべきである事を支持し、主張していきます。また、当社は、本鮪資源の長期的保全の為、大西洋まぐろ類保存国際委員会（以下、ICCAT）で取り決められた以上の方策が必要であると考える場合には、自主的に独自の対策を採って参ります。
- ・ 混獲の最少化：当社は、海洋哺乳類、海鳥などの混獲の最少化に注意を払っている漁業者からクロマグロを買付けるよう努めます。
- ・ 監視システム：当社は、漁業者の活動が、法令を遵守しているかを定期的に調査、評価致します。
- ・ 関係者との取組み：当社は、透明性及び責任を持って活動し、またクロマグロ資源の将来の存続の為に、関係者と積極的な取組みを行ないます。
- ・ 科学的研究の支援：当社は、長期的なクロマグロ資源の保全と、それに依存している漁業の維持の両方を可能とするには、科学的根拠に則った資源管理を行なうことが最重要事項であるという考えの下、クロマグロに関する科学的研究の支援を引き続き行なって参ります。

- ・ クロマグロ産卵場における保護区設定の支持：当社は、クロマグロの漁獲量削減の手法の一つとして、また産卵場周辺の重要な生態系の保護の為に、スペイン・バレアレス諸島周辺のクロマグロ産卵場を保護区とし禁漁とする呼びかけに賛同します。これに伴い、当社は同諸島周辺で漁獲されたクロマグロの取扱を 2009 年漁獲シーズンより自粛しておりますが、科学的に有効性が証明される場合には地中海での他の保護区設定に関しても同様の対応を行います。
- ・ 買付量の削減：当社は、科学的根拠に基づいた持続的な漁業の実現に寄与する為、クロマグロの買付量を削減致します。この一環として、当社は、2010 年に漁獲された大西洋クロマグロの買付量を、前年との比較に於いて、2009 年から 2010 年にかけての TAC（漁獲枠）削減比率以上の割合で削減する事とします。

Our Call on all Related Parties 関係者への要望

当社は、クロマグロ資源の保全とそれに依存している漁業の持続の両方を実現すべく、できる限りの努力をして参ります。しかしながら、当社一社ではクロマグロ産業に関連する過去からの諸問題を全て解決する事は困難です。当社は、全てのクロマグロ産業関係者が長期的なクロマグロ資源の保全にそれぞれの立場から貢献する事を希望します。

● ICCAT

現在の重要な局面に於いて、ICCAT がクロマグロ資源の長期保全の為に、妥協の無い断固とした決断が出来る、より責任能力のある機関となる事が最も必要とされていると考えます。更に、ICCAT が有効に機能する為には、加盟国全てが ICCAT の決定を支持し、厳格に遵守する事が極めて重要だと考えます。

● 水産庁

当社は、ICCAT がより責任能力のある機関として再構築される為に、また、クロマグロ資源と漁業の長期的な持続の為に科学的に有効な方策を ICCAT が施行する為に、日本の水産庁が世界が求めている指導的役割を引続き担われる事を希望致します。

Continuous Engagement 持続的な関与

当社はクロマグロの調達に関連した問題の複雑さを認識して居ります。当社は、持続可能なクロマグロ資源の利用を実現するという目標を持つ関係各位との対話、協働を歓迎致します。